

支えあい通信



第5号

【令和5年1月13日発行】鹿屋市地域包括支援センター／生活支援コーディネーター
鹿屋市吾平町麓56-4 ☎ 0994-45-6969

住民主体の有償ボランティアの研修会を開催しました!!

マイク **さわやか福祉財団 清水肇子理事長 基調講演**



全国に広がる助け合い活動 有償ボランティアについて講演して下さいました。続いて行われた事例発表では大浦おたすけ隊と寿3丁目きばいもんそ会の活動に対する質問が多く、参加者の有償ボランティアへの意識の高まりが感じられました。

基調講演・事例発表後のグループワークでは、さわやか福祉財団で発行しているカードゲームを使って助け合いの疑似体験をしました。“助けてもらいたい”と思ったカードを選び「誰かこれをしてくれませんか」とお願いをします。

助け合いゲーム



引き受けてくれる人がいたら交渉が成立です。「よろしくお願ひします」と握手を交わすところですが…コロナ禍なのでグータッチ!! グループのみんなで「よかったね」と拍手して共に喜び合います。

助けてあげたいけど一人では難しい時は「誰か一緒にやりませんか」と仲間を募ったり、グループ内で助けられないときはアイデアを出し合ったり、隣のグループに助けを求めたり色々な方法で助け合っていました。

～参加者の感想～



鹿屋市のあたたかさを感じられる研修会でした

有償ボランティアに対する考え方の参考になりました



助け合いを広げていきたいと思いました

人生100年時代、真剣に考えていくと思いました



鹿屋市6番目の有償ボランティア



高隈に“おたすけ隊「あつたかくマン」”が発足し、11月14日 石蔵館において開始式が行われました。美しい里山 高隈に誰もが長く住み続けられるように高隈の生活実態に合った有償ボランティアの構築に向け、はじめの一歩を踏み出しました。あつたかくマンのキャラクターは、子ども達にもなじめるようなヒーローものです。会員のみなさんは「はじめから順風満帆とはいかなくても、そこから見えてくる新たな課題に向き合いながら、高隈が心を一つにして進んでいこう」と熱く語っていました。

“サロンにお料理ボランティア(お弁当の結)”



・ 池久保サロン ・



食をとおして高齢者の方に元気になってもらいたい!!作って頂いた美味しい昼食を皆で頂きました♡

高齢の男性の活躍を応援する YAROO!!プロジェクト

座談会



男子厨房に入る “ピザ作り”



THE 男会…有償ボランティアを運営している、大浦地区と吾平地区の男性が互いの地域課題解決に向けて座談会を開催し、活発な意見交換を行いました

西原地区学習センターとのコラボ企画、パン作りで人気のある那須みずえ先生を講師に迎え、8人のシニア男子がピザ作りに挑戦!! 美味しいピザができました